

# 元気確認ウォーキング⑥浜辺のなぎさ散歩道&相模川河口から上流へ

日時：2020年11月9日（月） 天候：晴 歩数：1万3000歩 距離：9km

集合：平塚駅南口噴水広場前 9時00分

コース：平塚駅南口噴水広場前→なぎさプロムナード→湘南海岸公園→龍城ヶ丘プール跡地→ビーチパーク  
（津波避難展望台）→木道の浜辺の道→平塚新港（波動発電所遠望）→相模川河口→湘南大橋→  
小出川橋→馬入橋→ホテルサンライフガーデン

参加者：吉野 小野里 河野（L） 野村 福士 山川 市村

11月9日、「元気確認ウォーキング⑥浜辺のなぎさ散歩道&相模川河口から上流へ」を行いました。晴、リーダーは河野さん、平塚駅南口噴水広場に6人（吉野 小野里 河野 野村 福士 市村）が参加してスタート。湘南海岸公園で山川さんが加わりました。

海岸へ出て「龍城ヶ丘プール跡地公園整備計画」場所へ、河野さんから「計画内容、海岸林の役割、住民の要求は松林の伐採でなく植林を」との話の聞きました。浜辺を歩き、9月に完成した津波避難展望台で小休憩、ここからは浜辺の散歩道を歩き平塚新港へ、新港にできた波動発電所を遠望しました。相模川河口から湘南大橋を渡り茅ヶ崎市へ入り河口から上流へ、とは言っても左岸は湘南シーサイドカントリー倶楽部と湘南リバーサイドマリーナの占用地で河岸は歩けませんでした。河野さん以外は初めて足を踏み入れた道で貴重な体験をしました。馬入橋を渡りホテルサンライフガーデンがゴール、12時15分、歩数は1万3000歩でした。

写真は、相模川河口で伊豆半島・箱根連山を背景にマスクを外しての1枚です。



## 平塚駅南口噴水広場 9時3分～なぎさプロムナード～湘南海岸公園

平塚市の10月1日現在の人口は25万7536人、前月比マイナス126人です。人口のピークは2010年の26万780人、それ以降毎月プラスマイナスをくりかえし漸減状態です。東海道線より以南はほぼ住宅街ですが、マンションが増え街の景色が変わってきました。噴水広場では、ボランティアの人が手入れをしているバラがまだ咲いていました。9時3分、6人（吉野 小野里 河野 野村 福士 市村）でスタート。駅から海岸まで真南へ約1.3kmの直線道路は「平塚なぎさプロムナード」で、電線が地中化されています。高山樗牛碑と「有島武郎夫妻由縁の地」の説明板を見て20分ほどで湘南海岸公園に着きました。



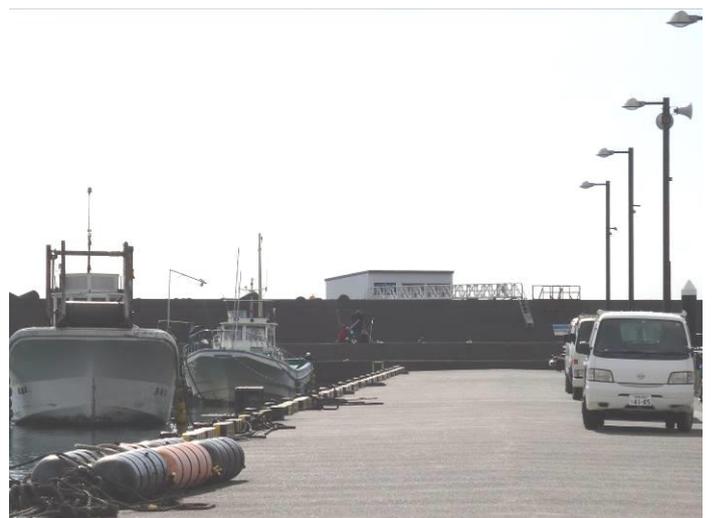
## 公園でストレッチ～龍城ヶ丘プール跡地～ビーチパーク・津波避難展望台

海岸手前の湘南海岸公園で山川さんが合流、河野さんのリードでストレッチ。標高は6.272m、市民プールもあります。住宅街を西へ進み、袖ヶ浜で海岸線を走る134号線へ出ました。龍城ヶ丘プール跡地のところは防砂林がなく134号線から全貌が見えます。子どもの頃はプールと言えばこのことで、湘南海岸公園にプールができてから廃止になりました。河野さんが「龍城ヶ丘プール跡地公園整備計画」について説明、住民の要求は「海岸林の役割は重要、計画規模の縮小を、松林の伐採でなく植林を」と話してくれました。砂浜を東へ進み、9月1日、ビーチパークに開設した津波避難展望台へ着きました。



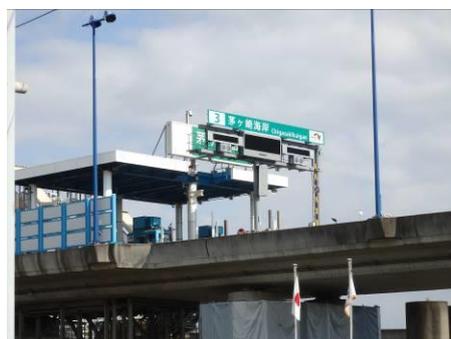
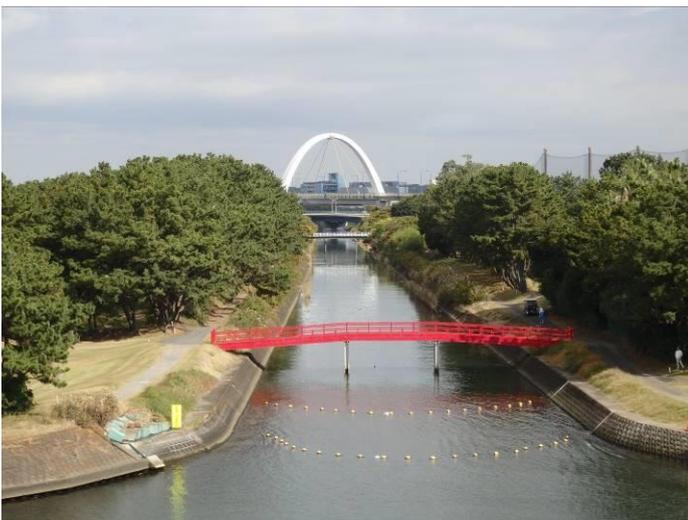
## 津波避難展望台～木道の「浜辺の道」～平塚新港・波動発電所遠望

津波避難展望台は鉄骨造り2階建て、避難階の高さは3.7mで建設地の標高と合わせ海面からの高さは約12m。県の津波浸水被害想定は、2千年～3千年で発生する巨大地震で平塚付近では最大9.5mの津波が地震後6分で到達するとしています。2階のベンチで小休憩、お菓子の差し入れがあり、しばし談笑。この日、ビーチセンターは閉まっていました。歩きやすい木道の「浜辺の道」を東へ。湘南新港の防波堤のところは良い波が来るのか、サーファーが大勢楽しんでいました。新港に到着、海岸に打ち寄せる波の力で電気を起こす「波力発電」の説明板がありました。見学会の日程が決まっています、普段は遠望のみです。



## 平塚新港～相模川河口～698mの湘南大橋～茅ヶ崎市柳島～小出川橋

平塚市と東京大学が進めてきた波動発電所、今年2月に完成して今年度末まで実証実験、10年以内の商業化実現をめざしています。新港から相模川河口に向かい集合写真を撮影。河口では、クレーン車が護岸工事でしょうか杭打ち作業を行っていました。上流へ歩き、全長698mの湘南大橋を渡ります。茅ヶ崎側上流に相模川支流の小出川が見えました。赤い橋はゴルフ場内の橋です。茅ヶ崎市の柳島地区に入り、新湘南バイパスの茅ヶ崎海岸料金所を右上に見て小出川橋を渡ります。河野さん以外は初めて足を踏み入れる地区です。どのような道で馬入橋まで行くのでしょうか。



## 県道相模原茅ヶ崎線～湘南シーサイドカントリー倶楽部～馬入橋

湘南バイパスと県道相模原茅ヶ崎線が並行して走っています。湘南バイパスが小出川を跨いでいるところにアーチ状の橋梁があります。左側にゴルフ場「湘南シーサイドカントリー倶楽部」の大きな看板、ここがゴルフ場の入口です。すこし進むと小さな文具屋さん、「なんでこんなところに」と思いましたが、すぐに分かりました。県道から左に曲がって相模川の方角に進むと中島中学校がありました。左右ともゴルフ場の道を進みます。JR東海道の跨線橋が見えてきました。ここからの河岸側は「相模リバーサイドマリーナ」の敷地、河口からここまで河岸には入れないようです。国道1号に出て馬入橋を渡り平塚方面へ戻ります。



## 馬入橋～ホテルサンライフガーデン 歩数 1万3000歩 距離9km

全長563mの馬入橋を渡ります。右前方に大山、丹沢の山並みが展望できます。橋の途中に「日本橋まで62km」の標柱がありました。平塚側に入り、ひらつかアリーナまで行く予定でしたが、少し手前のホテルサンライフガーデンに入りベンチで、コース振り返りと次回コースについて話し合いました。歩数1万3000歩、距離9kmとなりました。次回は12月7日（月）、予備日は12月9日（水）、吉野さんがリーダーでコースを作ってくれることになりました。



今回のコース、平塚の海岸が、龍城ヶ丘プール跡地問題、津波避難展望台設置、波動発電所実証実験開始と様子が変わってきていることを実感しました。元気確認ウォーキングで初めて茅ヶ崎市へ入り、相模川対岸の河岸が歩けないことも知りました。小野里さんの話では「国土交通省がゴルフ場などに土地を長期契約で貸し出している」とのことでした。「ゴルフ場の河岸部分を市民に開放して、自由に歩けるようにして欲しいな」と思いました。

(いちむら記)